

令和3年度社会福祉法人三環舎事業報告書

1 利用定員

	あしたば園	夢来夢来	夢来夢来
就労移行支援	0	6	
就労継続支援B型	16	20	
自立訓練	6		
生活介護	18		
就労定着支援			15
計	40	26	15

- 2 職員数 あしたば園 22名（常勤換算 18人）
 夢来夢来 18名（常勤換算 13人）
 あまみ就業・生活支援センター 4名
 チャレンジドサポート奄美 6名 計 50名（R4.3.31現在）

3 主な実績等

① 通所者数

	あしたば園				夢来夢来			
	就労B	自立訓練	生活介護	小計	就労移行	就労B	小計	就労定着
定員	16	6	18	40	6	20	26	15
4月	20		20	40	9	21	30	12
5月	20		19	39	10	19	29	12
6月	20	1	20	41	10	22	32	9
7月	20	1	20	41	8	21	29	9
8月	20	1	20	41	8	21	29	9
9月	20	1	20	41	9	21	30	11
10月	20	1	20	41	10	21	31	12
11月	20	1	20	41	10	20	30	12
12月	20	1	20	41	8	23	31	11
1月	20	1	20	41	9	23	32	11
2月	20	1	20	41	10	21	31	11
3月	20	1	20	41	10	21	31	10
月平均	20	0.8	19.9	40.8	9.3	21.2	30.4	10.8

② 工賃（4～3月） 総額 17,559,257円

	あしたば園				夢来夢来	
	就労移行	B型	自立訓練	生活介護	就労移行	B型
総額		7,512,337	178,040	1,398,730	1,162,870	7,307,280
平均利用者数		20	1	19	9	21
平均月額		31,443	14,836	6,134	10,767	31,318

4 活動の内容と成果

令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大の為、事業所を2週間休業した。また行事など利用者と職員のみで行うことが多く、家族会や地域との交流なども行えなかった。一方で、オンラインでの研修がすすみ、全国規模の研修にも積極的に参加することが出来た。

- ① 新設予定の「わくわく工房」は検討の結果、職員の人材不足で断念した。
- ② 令和3年度は、7名（あしたば園1名、夢来夢来5名）が就職して巣立っていった。また就労定着支援が一昨年7月より開始され、就職した方12名の定着支援に取り組んだ。定着率は83%である。
- ③ コロナ禍で移動販売やイトインが大きく制限され、店舗イベントも開催できず、昨年度の焼きたてパンの売り上げは前年比の85%、喫茶部門はランチをテイクアウトにしたが前年比90%になった。そのような中で、島料理レトルト部門は観光客が激減して空港やお土産店での売り上げが半減したにもかかわらず、前年比120%となり、年末にはふるさと納税の返礼品としての注文が殺到し、職員総出で対応した。その結果、就労継続支援B型の平均工賃があしたば園、夢来夢来とも目標とする3万円を達成した。
- ④ 職員と利用者のみで、レクリエーションも縮小して行った。また月1回「あしたば園だより」を発行してご家族にも活動の様子を見える化するようにした。
- ⑤ 生活支援アプリの取り組みと余暇活動支援は、少し慣れてきて参加者が増加した。また全国オンライン飲み会など全国交流会にも参加し、楽しい催しとなった。
- ⑥ あまみ就業・生活支援センターでは、「あまみなかぼつ便り」を作成し、地域の事業所に配布した。
- ⑦ 相談支援事業所チャレンジドサポート奄美では、心理士相談会に学校からの申し込みが多く、もぐもぐ外来にも保健師や児童関係事業所から多くの申し込みがあった。また保育所などでの運動遊び支援も定着している。
- ⑧ 毎月、業務改善委員会を実施し、法人全体の課題について話し合った。
- ⑨ 2月に現場職員の処遇改善の加算が通知され、正職員の給与の見直しを行った。また最低賃金見直しのため、パート職員の時給の改善を行った。パート職員3人を本人の希望により4月から正職員とした。
- ⑩ 利用者へのアンケート、職員の要望・提言調査を行った。

【あしたば園】

《製造班》

製造班は、「ラスク及び菓子製造」、「島じゅうり」の二班で活動している。

ラスク及び菓子製造班は、従来商品に加え、今年度も、クッキーシューとチーズケーキ、シフォンケーキ、希少糖ケーキが好評で安定的に売り上げている。

島じゅうり（加工場）では、観光客が激減して空港やお土産店での売り上げが半減したにもかかわらず、売り上げが前年比120%となり、工賃向上に大きく貢献した。年末にはふるさと納税の返礼品としての注文が殺到し、職員総出で嬉しい悲鳴を上げながら対応した。

2年前よりカレーの商品化に取り組み新発売となった。30年程前から「島おこしカレー」として奄美産のウコンでこだわりのカレールーを製造している方に相談、ご理解いただいて、そのルーをベースにあしたば園で育てたパパイヤを入れ「パパイヤ入り奄美カレー」を開発した。パッケージの絵は鶏裂き名人の利用者Kさんを書いていただいた。素敵なパッケージで、鹿児島県の新しい取り組み「6次化自販機」にも採用された。

ケーキ・ラスク 620 万円（前年度比△20 万円） 島じゅうり 1522 万円（+270 万円）

《委託作業》

あしたば園の隣に畑を借りることができ、農作業を行うことができた。ブロッコリー、ジャガイモ、ミニトマト、大根などを収穫した。今後レトルトに必要な冬瓜やつわぶきも栽培したい。また優先調達による官公庁の剪定作業にも取り組んだ。名刺印刷にも取り組み、官公庁よりの受注を行っている。

《生活介護》

日々の活動計画に基づいて、障害の程度に合わせた軽作業を行っている。コロナの影響で楽しみにしている遠出販売がほとんど行けなかった。

スヌーズレンの活動も継続。スヌーズレンルームで一時的ないらだち、不安感の解消など利用者のリラクゼーションにも取り組んでいる。

今年度は、生活介護の取り組みの見直しを行い、講師の先生に来ていただいて体を動かすレクリエーションやボッチャに取り組んだ。また、生活介護班の生産活動として、つわぶきの皮むき、箱折り、シール貼り、袋作り等を行い、繰り返しによって働くことにも力をつけている。

【夢来夢来】

《製造班》

パン製造班は、徐々に力をつけ、多数の新商品製造に尽力し、多数のお客様が来店する人気店となっている。売上 2,713 万円（△515 万円）。またむかいクリニックやなぎさ園、幼稚園などの注文も受けており納品分が 477 万円（+29 万円）と多くなった。郵便局の無人販売等にも注力している

《販売班》

店舗では元気よく対応し、お客様に親切なお店として好評で、1 日平均 150 名のお客様に対応している。また移動販売班は、市役所、老人施設他たくさんの場所で移動販売を行っている。感染レベル上昇のため、一時販売ができないこともあったが、感染症対策と、移動販売先のお客様の配慮で、引き続き販売を行うことができている。

《喫茶・ランチ班》

コーヒー、島じゅうりランチ、鶏飯丼、島じゅうり弁当（540 円、270 円）など好評でほぼ毎日売り切れである。また、新商品の奄美カレー、軟骨丼もご好評いただき、更に賑わいを増している。原価率が高いため、原材料の見直しが必要である。

《清掃班》

サービス付き高齢者住宅「ゆとりあん」の清掃作業、退所時清掃、ワックスがけを通して、作業スキルを身に付け一般就労への力をつけている。

- ・幸栄パチンコ店ワックスがけ（月 1 回）、ワックス剥離作業（年 1 回）
- ・むかいクリニックワックスがけ
- ・夢来夢来、あしたば園ワックスがけ

《奄美市食の自立支援事業》

奄美市が行う訪問給食サービスの委託を受け在宅の高齢者に対して、温かい食事を配食することにより、栄養の改善や、安否の確認等を行っている。

《厨房班》

むかいクリニックの厨房で食器洗浄、仕込み、盛り付けなどを行い、スキルアップに

役立っている。

《就労支援》

就職への意欲は高く、就職者 5 名 実習延べ 8 名であったが、それぞれ力をつけているので来年度に期待したい。

《その他の取り組み》

アプリを活用した余暇支援の活動

新たなる余暇ニーズへの取り組みとして、班を分けながらの活動を行った。感染症レベルが高く、開催できないこともあったが、オンラインなど利用して、できる限り開催することに注力した

【あまみ障害者就業・生活支援センター】

令和 3 年度の活動実績について

《支援実施状況》（令和 4 年 3 月 31 日現在）

□登録状況（性別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
男性	26	59	48	17	150
女性	11	36	32	7	86
合計	37	95	80	24	236

□登録状況（現状別）

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（人）
在職中	28	55	28	11	122
求職中	7	35	46	9	97
その他	2	5	6	4	17
合計	37	95	80	24	236

□実習・就職件数

区分	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計（件）
職場実習	4	18	7	1	30
就職	6	11	7	0	24

登録者における男女比は、男性が 64%、女性が 36%で、障害別では、概ね身体障害者 16%、知的障害者 40%、精神障害者 34%、その他 10%となっている。

また、登録者における在職者の割合は、約 52%である。

実習、就職件数については、コロナ禍ではあったが当初目標を超える件数となった。

主な実習先や就職先としては、例年同様福祉施設や病院等での調理補助や清掃が多かった。公的機関での就職が 5 件あった。

《障害者就業開拓推進員の配置》

県雇用労政課の非常勤職員として、障害者就業開拓推進者が 1 名駐在し、求人開拓や雇用関係情報の収集などの業務に従事して頂いている。（平成 26 年度から継続）

《離島訪問等》

コロナ禍の影響もあったが、概ね当初予定回数離島訪問することができた。それにより関係

機関との情報共有や登録相談会、事業所開拓等を行うことで実習や就職支援、定着支援、生活支援に繋がった。また、本島内6地区でも登録相談会を開催した。

【離島における訪問回数】

(喜界島) 4回 (徳之島) 3回 (沖永良部島) 4回 (与論島) 4回

《在職者交流会》

在職者を対象にした交流会を2回実施し、就労面や対人関係等の悩みなどを共有した。課題の解決や就労意欲のモチベーションの維持を図ることで定着につながっている。

- ① 7/3 「土砂災害について学ぶ」(大島支庁建設課職員) 参加者10名
「龍郷周遊」
- ② 3/12 「職場でのストレス対処法を考える」(センター職員対応) 参加者4名
「ポッチャ」

《ピアサポート交流会》

センターの概要説明を行い、その後ピアサポーターによる体験談、参加者との意見交換を行った。

日時：2月22日(火) 13:30- 場所：奄美市社会福祉センター会議室
講師：グリーンストア長浜店 禎尋之氏
参加者：就労移行支援事業所に通所しているセンター登録者等 9名

《障害者支援担当者交流会》

企業において障害者支援を担当する支援者を対象に、当センターの活動状況を説明し、その後講師による講和、質疑応答を行った。

日時：3月18日(金) 13:30~ 場所：オンライン開催
講師：鹿児島障害者職業センター 主任カウンセラー 伊藤富士雄氏
テーマ：「障害者の職場定着について」
参加者：9社11名

《関係機関との連携》

地域で開催される各会議にオンライン等で参加し、センターの周知を図り、就労支援のためのネットワーク作りを強化することで、連携体制を築いている。

- 奄美地区地域自立支援協議会
(全体会、運営委員会、定例会、就労部会、精神部会)
- 大島地区就労ネットワーク会議(1回 オンライン開催)
- 鹿児島県障害者就業・生活支援センター連絡会(1回 オンライン開催)
- 鹿児島県障害者就業・生活支援センター業務担当者会議(3回 オンライン開催)
- 大島養護学校(登録相談会、出張講座等)

《会議開催》

- 令和3年度 障害者就業・生活支援センター連絡調整会議
障害福祉サービス事業所や相談事業所、行政機関、教育機関、ハローワークの担当者等に対し、センターの活動状況を説明した。
また、鹿児島障害者職業センターなど専門機関に活動内容などの説明をお願いした。

今回は、コロナ感染防止の観点からオンラインで開催した。

日時：12月16日（木）13：30～14：30

場所：オンライン開催

参加：33機関51名

※第1回大島地区就労ネットワーク会議と共催。

【指定特定相談支援事業所 チャレンジドサポート奄美】

管理者及び主任相談支援専門員1名 相談支援専門員 4名
(現任研修修了者 2名) コーディネーター 1名を配置している。

1 計画相談実績

月	利用計画作成 (請求分)	モニタリング (請求分)
4月	6	131
5月	83	97
6月	49	60
7月	41	90
8月	18	47
9月	8	104
10月	32	91
11月	23	28
12月	14	98
1月	16	108
2月	18	50
3月	5	98
計	313 件	1002 件

2 障害児等療育支援事業実績

① 在宅支援訪問療育支援事業 (210件)

- ・小児神経専門外来、発達療育相談
- ・県立大島病院2回、奄美市2回
- ・心理士相談 (36回)
鹿兒島大学心身医療科 公認心理士 川元氏
奄美病院 公認心理士 新田氏
鹿兒島純心大学准教授 公認心理士 中島氏
- ・もぐもぐ相談 (鹿兒島大学小児歯科 佐藤医師) 2回

② 施設支援一般指導事業 (47件)

保育所、幼稚園、学校、大島養護学校などからの申し込みを受け、専門スタッフを派遣して、療育に関する技術向上に向けての助言や支援を行う。

- ・発達障害地域支援専門員 大山氏・向井氏
- ・療育指導相談員 當島氏
- ・県立大島病院理学療法士、作業療法士、言語療法士
- ・発達サポートリハ龍郷作業療法士 楠元氏 言語聴覚士 里氏
- ・にこびあ 言語聴覚士 法氏

- ・鹿児島大学小児歯科 佐藤医師、橋口医師
- ・そらまめキッズ 平原氏 松永氏
- ・中京大学現代社会学部教授 辻井氏
- ③ 外来相談支援、一般相談（ 0 件）
障害児、障害者に対して随時個別相談に応じる。
- ④ 障害者親の会
 - ・就学児親の会（1回）
 - ・ダウン症親の会（1回）
- ⑤ペアレントプログラムの実践
 - ・宇検村と大和村合同で6回
 - ・奄美市はコロナ感染予防のため中止となった。
- ⑥ 鹿児島県子ども療育センターのコーディネーター会議への参加（6回）
（リモート5回、現地1回）

3 会議への参加

- 奄美地区地域自立支援協議会 相談支援部会（毎月） 運営委員会 子ども部会